

## 第5次茨木市総合計画

はじめに

- 1 計画策定にあたって
- (3)茨木市を取り巻く社会環境
  - ①人口減少社会の到来と人口構造の変化
  - ④安全・安心への意識の高まり
  - ⑦コミュニティの変容

市民会館跡地構想 27ページ  
「社会情勢・政策課題の把握」

### 前期基本計画

### 4 施策別計画

- 第2章 次代の社会を担う子どもたちを育むまち
- 施策1 すべての子どもの育ちを支援する

#### 【施策の方向性】

次世代育成支援行動計画に基づき、すべての子ども・家庭の状況に応じた切れ目のない支援を行うことにより、子どもの健やかな育ちを保障するとともに、安心して子育てできる環境を整えます。

市民会館跡地構想 30ページ  
「第5次茨木市総合計画・都市計画  
マスタープランに基づく方向性」

### 第3章 みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち

- 施策3 文化芸術活動を支援し歴史と伝統を継承する
- 取組②文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり

#### 【市が行うこと】

市民、文化団体等が、身近な場所で文化芸術にふれることができる環境を整備します。

LINK

### 第7章 まちづくりを進めるための基盤

- 施策2 社会の変化に対応する効率的・効果的な自治体運営を推進する
- 取組④公共施設等の計画的な整備と資産の有効活用

#### 【現状と課題】

耐用年数の経過や将来の人口減少を踏まえ、インフラや公共施設の適切な維持管理、長寿命化を推進する必要があります。また、民間活力等をいかした、市有資産の有効活用を勧めることが求められています。

市民会館跡地構想 29ページ  
「その他、考慮すべき政策課題・関連計画」

### 5 都市構造

- (2)都市構造・土地利用の考え方と区分
- ①中心市街地(都市拠点)

今後は、「医療・福祉」「子育て」「文化」などの機能も組み込み、アートや緑、イルミネーションなど華やかで楽しい雰囲気を醸し出す取組を推進することで、より多くの人が利用し、「人」「モノ」「カネ」に加えて「感性」が循環し交流する、生活に彩りを持たせることのできる地域をめざします。

LINK

茨木市都市計画  
マスタープラン

### 第2章 都市づくりプラン

#### 3 都市構造

都市構造の区分① 中心市街地(都市拠点)

#### 【目指す地域イメージ】

- 多くの市民等が訪れ、利用するための「場」「機能」「交通」が集積し、「人」「モノ」「カネ」に加えて「感性」が循環し交流する地域
- 「医療・福祉」「子育て」「文化」などに関する施設機能が組み込まれることによる来訪者の増加・交流の促進が見込まれる地域
- アートや花・緑、イルミネーションなどによる華やかで楽しい雰囲気を醸し出す地域

茨木市文化振興ビジョン

### 第4章 文化振興ビジョンの理念とその取組の方向性

#### 2. 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり

市民の一人ひとりが文化を創造し、育成していく文化芸術活動の主役であることを踏まえて、すべての市民が「いつでも・どこでも・だれでも」文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくりを積極的に進めていきます。

ハード面では、市民が文化芸術活動を行う拠点となる文化芸術施設の計画的な整備を進めるとともに、道路・公園などの都市基盤整備に当たっても、地域の歴史や景観との調和に配慮します。

茨木市公共施設等マネジメント基本方針

### 第3章 公共施設等マネジメントに係る基本方針

#### 2 公共建築物に係る基本方針

【基本方針】施設の有効活用と全体最適化

#### ■施策の方向性

既存の公共建築物の一層の有効活用に向けて、地域や市域全体の最適化を図る「全体最適化」の観点から、個々の施設の必要性や役割、機能などのあり方を検討し、老朽化対策と併せて、複合化・多機能化、統廃合等を含めた、時代の要請に応える見直しを推進します。

市民会館跡地構想 54ページ  
「事業の進め方」

【基本方針】多様な主体との連携の推進

#### ■対策の方向性

民間事業者等の施設やサービスの活用、PFIをはじめとした官民連携(PPP)手法の導入など、民間活力の活用を検討します。また、市民等との協働を推進するとともに、国や他の自治体との広域連携の可能性を積極的に検討し、市民サービスの向上と経費の節減を図ります。

LINK